



<編集兼発行人>

公益財団法人福岡県国際交流センター

事務局長 渡辺 文

<発行日> 平成29年6月

<所在地>福岡市中央区天神1丁目1番1号

アクロス福岡8階

(公財)福岡県国際交流センターの最新の移住事業をお伝えします

平成29年度福岡県移住者子弟留学生8名が福岡での新生活をスタート!

今年度も、福岡県移住者子弟留学生8名が来日し、1年間の留学生生活をスタートしました。初めての福岡での生活に、留学生同士で協力しながら元気に学校生活を楽しんでいます。また、5月25日には、江口副知事を表敬訪問しました。副知事より、「今回一緒に勉強することになった8名で切磋琢磨しながら、大きく成長されることを期待しています。そして、皆さんが将来、福岡県とそれぞれの地域を結ぶ交流の懸け橋として、大いに活躍されることを願います。」と激励の言葉をいただきました。



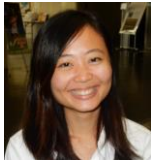
【江口副知事と記念撮影】

県費留学生の紹介



この1年間の第一の目標は、学校を卒業し調理師免許を取得することです。その他にも、福岡のいろいろな所へ行ったり、自分の祖母が住んでいた所へ行ったり、親戚の叔父たちにも会いたいと思っています。
(在ボリビア:徳永 アレハンドロ 勇一)

学校生活は、新しいことばかりで毎日刺激を受けています。教授や、研究室の皆さんはとても親切で、大学はとても綺麗で、大きくて感動しました。日本の大学でしか学べない事を勉強し、留学のサポートをしてくれる皆さんとの交流やイベントに参加し、日本文化に触れあい、ブラジルに戻った後も感謝の気持ちを忘れずに、留学経験を活かしたいと思います。
(ブラジル:福山 真伊)



大学で新しい知識を覚える日々は、とても楽しいです。大学で何か分からない時には、友達や先生がいつも助けてくれます。日本語をもっと上手に話せるようになり、日本語能力試験 N2を受けたいです。
(ブラジル:太田 砥綿 マリアナ 絵理)

祖父母が教えてくれた日本文化や自分のルーツをもっと知りたいです。また、日本語をもっと勉強し、建築の本を読みたいです。日本語能力試験にも挑戦したいです。学校では日本語や都市設計などの授業があり、建築の専門用語は難しいですが、少しずつ学びたいです。
(ブラジル:矢野 マルシア 百合江)



大学で開催された留学生のお茶会に参加しました。お茶の先生がお茶をたてる場所が見られて、抹茶を味わうことができ、嬉しかったです。この留学期間中に、日本語を会話レベルに話せるようになりたいし、読み書きの練習にも挑戦したいです。
(ハワイ島:イワサキ ケリー カオリ)

福岡では、寮や県費留学生、景色や町の人々などのおかげで、曾祖父の故郷の雰囲気を経験することができ、本当に嬉しいです。滞在中に挑戦したいことは、日本語能力試験と自分のルーツを探ることです。大学の授業でも、目標が達成できるように勉強しています。
(メキシコ:谷川 フロレス ホアン カルロス)



初めての福岡では、大きな街並みや発展している町に驚き、また文化や伝統を大切にしているのが印象に残りました。毎日、とても充実した日々を送っています。昔から写真に興味があり、この1年間で多くのことを学びたいです。先生や同級生の皆さんは、とても良い人ばかりです。
(ペルー:竹下 ケニー)

福岡は人混みも少なく、安くて美味しい食べ物がたくさんあり、とても過ごしやすい環境です。大学の勉強はとても難しく感じています。経済を日本の視点で学ぶため、現在、日本史の勉強を頑張っています。
(トロント:合戸 祐)



人事異動のお知らせ

平成29年4月1日付けで、当センターの専務理事が代わりました。

ふくしま あきひこ

公益財団法人福岡県国際交流センター専務理事 (旧)田中 俊太 → (新)福島 明彦